

事業所名

多機能型通所支援事業所リーノ2

児童発達支援 支援プログラム

作成日

2025年

3月

26日

法人（事業所）理念		すべてはお子さんご家族の幸せのために。 ご本人やご家族が納得し、ご満足いただける結果につながるよう、日々研鑽し実践を行い続けることを信念とする。								
支援方針		お子さんの特徴、特性をしっかりと観察して見立てを行い、毎回の療育において行動変化がみられる支援を実践していく。 毎回の支援の積み重ねるなかで、親御さん、通所されている保育園等の先生方がはっきりとみて取れる成長、変化につなげていく。 お子さんの成長に応じたプログラムを提供していく。								
営業時間		9時	30分	から	12時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・食事面の自立に向けた支援(本人に合った食具を選ぶ/食具を使う経験/自分で食べる経験/食具を使うための指先課題の実践)。 ・排泄面の自立に向けた支援(トイレトレーニング)。 ・更衣の自立に向けた支援。 ・所持品の準備・片付けの自立に向けた支援。 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・環境適応運動(くぐる、わたる、のぼる、ぶらさがる)につながる遊びや運動を通し、ボディイメージを育てる。 ・寝返り、ずり這い、四つ這い等の運動遊びを通し、運動能力の基礎となる力を育てる。 ・運動予測の能力を育て、転倒や人との衝突を避けることが出来る力を育てる。 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・集団、個別のプログラムを通し、物の個数や形、大小や色、機能や属性等の認知形成につなげる。 ・対人関係による誤学習行動を修正し、より適切な行動が出来る力を培う。 ・こだわりや認知の偏りからくる行動障害への支援(こだわり行動の消失につながる支援)。 ・場に合わせた振る舞いが出来る力を育てる支援。 								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じたコミュニケーション方法の獲得(ジェスチャー、サイン、絵カード等、含む)。 ・対人交流が自然に生じる遊びを通し、言葉の表出を促す場面設定(集団遊び、SOSの要求等)。 ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得(物の貸し借り、場所の共有等)。 								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・一人遊びから協同遊びへの支援(自由遊びパッケージ/集団ゲーム等)。 ・気持ちや感情をコントロールする力を育み集団参加を促す支援(自由遊びパッケージ/運動プログラム/集団ゲーム等)。 ・自己肯定感や達成感が高められるような活動の提供。 								
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・外部から臨床心理士の先生を招き、親御さん向け学習会(座談会)の実施。 ・希望に応じ、児童発達支援管理責任者、管理者等が個別の相談を行う。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・親御さん、通われている保育園・幼稚園、市町村の関係者、相談支援専門員等と支援会議を実施し、その後移行に向けた取り組みを行っていく。 			
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援を通し、地域の保育園・幼稚園等への支援を行っていく。 ・市町村の支援関係者と、情報共有等を行いながら連携を図って行く。 ・相談支援専門員との連携。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のミーティングでの振り返りと目標設定の徹底。 ・外部研修への積極的な参加。 			
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の実施。 								